

令和 4 年 2 月 17 日

## 「安城市における入退院時情報共有・連携ルール作業部会」

## 【背景】

安城市では平成 26 年より在宅における医療と介護の連携を推進するために、多職種ワークショップ研修会等の研修会を開催してきた。在宅医療介護連携推進事業の取り組みの中で、令和 2 年度に実施した「安城市における看取り・多職種連携に関するアンケート調査」の結果で、「病院側と在宅側で、入退院時の連携について認識の相違がある」という問題が上がり、課題としては「各施設や事業所によって情報提供の有無や内容に差がある可能性や、情報提供について必要なタイミングで行えていない可能性ある」、「退院時の連携や退院前カンファレンスについても課題がある」事等が分析されている。これらを踏まえ令和 4 年度より、安城市における入退院時情報共有・連携ルールについて検討をしたい。

## 【目的】

本人・家族等が切れ目のない医療・介護・福祉サービスを受けられるよう、多職種が情報を適時・適切に共有し、意思決定支援を継続的に行える環境を整える

## 【方略】

1. 会議体名  
入退院時情報共有・連携ルール作業部会
2. 事務局  
安城市在宅医療サポートセンター  
高齢福祉課地域支援係
3. 参加メンバー  
(病院側)  
安城更生病院：2 名 八千代病院：2 名 松井整形外科：1 名  
(在宅側)  
各部会より参加希望者、ケアマネット部会、訪問看護ネットワーク部会、保健福祉部会、施設部会  
オブザーバー：医師会・病院部会代表 1 名ずつ
4. 開始時期  
令和 4 年 4 月～3 月(予定)  
定例会：毎月第〇〇曜日 14：00～15：00 場所：未定
5. 目標  
1 年間で連携ルール・エチケット集作成(予定)